

平成26年度 当初予算総額 289億860万円を計上

『新しい海津市がスタートする年』と位置付け 清流のまちづくり、元気な海津市の実現を目指す

問い合わせ 企画財政課 ☎53-1113

平成26年度の当初予算規模は、一般会計153億4,100万円（前年比1.6%減）、特別会計111億3,140万円（2.3%増）、企業会計24億3,290千円（16.1%増）、財産区会計330万円（2.9%減）、全体では289億860万円（1.2%増）となりました。

合併時から懸案事項であった新庁舎が完成し、「新しい海津市がスタートする年」と位置付け、防災力の向上や医療体制の充実、教育などに重点をおき事業を展開していきます。

新庁舎は耐震性に優れた構造とし、1階に窓口業務を集約して市民の皆様の利便性を高めています。また、組織再編も併せて行い、よりわかり易い組織に見直しました。海津庁舎西館の耐震補強工事を現在実施していますので、完全統合は、平成27年1月となります。

防災面では、危機管理局を新設し、災害時における指揮命令系統を明確にし、迅速な対応ができるようにし、また、不感地域解消事業や民間の福祉施設などに個別に設置する無線受信機を購入します。

医療では、ワンコイン検診と銘打って、負担金を500円とし、子宮がん、乳がん、大腸がんの検診の更なる受診の勧奨を行います。また、新規事業としては、脳血管疾患の早期発見を目的とした脳検診助成事業を新設。従前のからの胃透視による胃がん検診に加え、胃がんのリスクを判定する胃がんリスク検診（ABC検診）を実施します。予防接種事業においては、任意予防接種として、中学生までのインフルエンザや高齢者肺炎球菌ワクチンの被接種者に対する費用の助成を引き続き行い、新たに水ぼうそう、おたふくかぜ、B型肝炎ワクチンの費用助成を行います。

教育では、城南、南濃中学校の統合に伴い、城南中校舎の南側に新校舎の建設、電車通学の生徒が増えることに考慮し、養老鉄道の石津、美濃松山両駅に駐輪場を整備するための調査設計を行います。

厳しい経済情勢が続く中、行政運営事務事業の見直しをこれまで以上に進め、限られた財源を重点的かつ効率的に配分、執行し、元気な海津市、持続できる海津市、開かれた海津市を目指し、簡素で効率的な行政運営を図りながら財政の健全化に努めています。

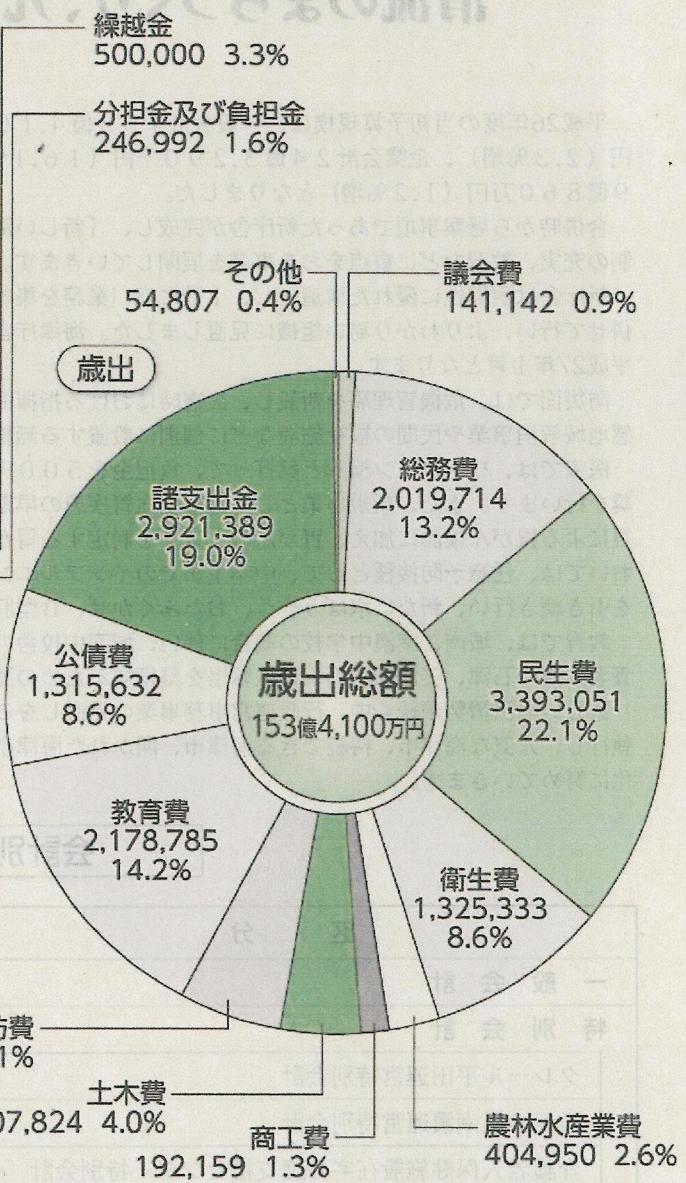
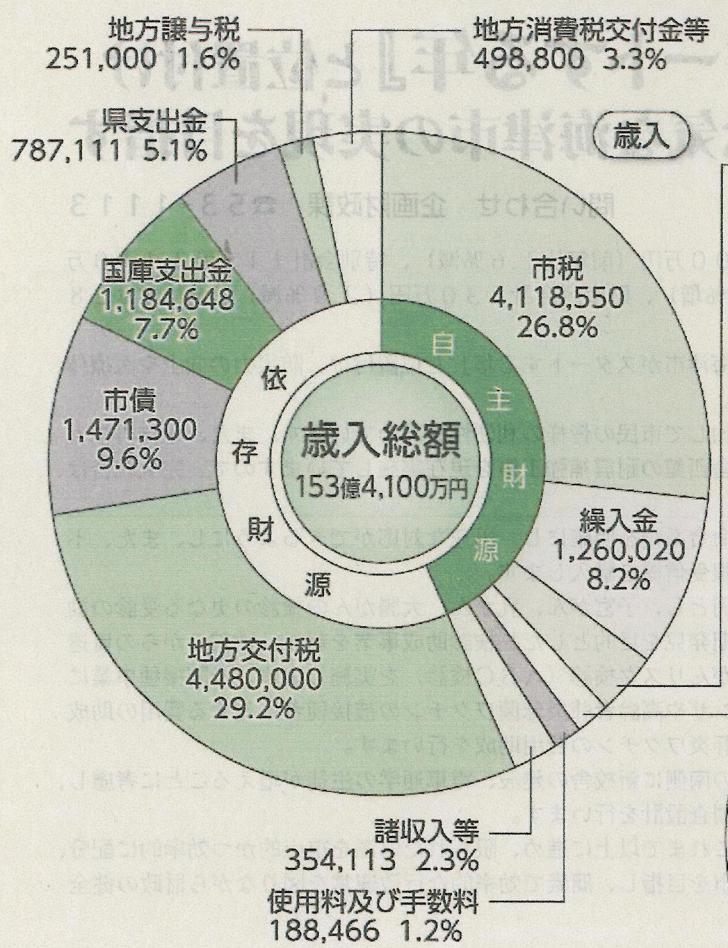
会計別予算額

(単位:千円)

区分	予算額	前年度比較(増減額)
一般会計	15,341,000	-256,000
特別会計	11,131,400	254,800
クレール平田運営特別会計	105,400	-2,400
月見の里南濃運営特別会計	113,000	-1,100
介護老人保健施設在宅介護支援センター特別会計	48,100	1,200
国民健康保険特別会計	4,730,000	60,000
介護保険特別会計	3,186,400	93,600
後期高齢者医療特別会計	650,800	14,700
下水道事業特別会計	2,297,700	88,800
企業会計	2,432,900	337,700
水道事業会計	1,548,800	324,600
介護老人福祉施設事業特別会計	262,900	14,400
介護老人福祉施設事業デイサービスセンター特別会計	42,200	700
介護老人保健施設事業特別会計	579,000	-2,000
駒野奥条入会財産区会計	1,800	-100
羽沢財産区会計	1,500	0
合計	28,908,600	336,400

平成26年度 一般会計予算

(単位:千円)



市民1人あたりの予算の使い道(一般会計)

※平成26年1月1日現在 市の人口37,455人

議会費 議会活動に 3,768円	総務費 行政運営に 53,924円	民生費 福祉・保健・医療の充実に 90,590円	衛生費 きれいな生活環境に 35,385円	農林水産業費 農林業や水産業の振興に 10,812円	商工費 商工観光業の振興に 5,130円
土木費 道路や橋、計画的なまちづくりに 16,228円	消防費 消防活動に 20,991円	教育費 学校・生涯学習・スポーツの振興に 58,171円	公債費 まちづくりのための借入金返済に 35,126円	諸支出金 特別会計への繰出などに 77,997円	その他 労働費・予備費など 1,463円

平成26年度当初予算 主な事業と内容

清流のまちづくり、 元気な海津市の実現に向けて！



財源 国県 = 国・県支出金
その他 = 分担金、使用料等

- ◎…新規事業
- …事業拡大
- …継続事業

平成26年度当初予算は、市ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

■子宝祝金支給事業（9,500千円）

第3子以降の子を出産し、その出生児が小学校へ就学に至るまで引き続き居住する意志のある出生児の保護者に支給する。

- ・出産祝金 1人当たり 150千円
- ・入学祝金 1人当たり 50千円

【財源：一般 9,500】



■留守家庭児童教室運営事業（36,213千円）

保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に、遊び及び生活の場を与え児童の健全育成を図るため実施する。

【財源：国県 13,998・

その他 12,930・一般 9,285】



■敬老の日お祝い事業（5,184千円）

永年にわたり社会に貢献された高齢者への敬意を表し、長寿を祝福するため、9月上旬から敬老の日にかけて市内在住の80歳以上の方々に記念品を配布する。

【財源：一般 5,184】



■配食サービス委託事業（1,851千円）

一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の方を対象に、食事ボランティアによる手作り弁当を居宅に配食する。栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を行う。

【財源：一般 1,851】

■生活保護費扶助事業（144,561千円）

真に生活に困窮した市内居住者に対して、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低生活を保障し、自分の力で生活できるよう援助する。

【財源：国県 109,932・その他 10・一般 34,619】

1 安心して暮らせる 地域医療・福祉のまちづくり

○医療機器整備費補助事業（30,000千円）

海津市医師会病院の医療機器MR I の導入費用に対する補助。

【財源：一般 30,000】

■がん検診等事業（68,587千円）

保健事業として各種がん検診事業及び人間ドックを実施し、がんの予防、早期発見、早期治療を推進する。また、新規に胃がんリスク検診（ABC検診）を実施する。

【財源：国県 2,554・その他 2,588・一般 63,445】

■予防接種事業（101,611千円）

予防接種法に基づき、ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、麻疹及び風疹（MR）、日本脳炎、BCG、インフルエンザ（高齢者）の予防接種を実施する。

任意予防接種として、インフルエンザ（中学生まで）、高齢者肺炎球菌ワクチン、風疹の被接種者への費用の助成を実施する。

また、新規に水ぼうそう（水痘）、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）、B型肝炎ワクチンの被接種者への費用の助成を実施する。

【財源：その他 612・一般 100,999】

■乳幼児等福祉医療費助成事業（151,000千円）

乳幼児等の医療費のうち、保険適用分の自己負担金を助成することにより、子育てにおける負担を軽減し、これらの者の保健の向上並びに福祉の増進を図る。

乳幼児健診



・中学校3年生まで、入・通院に係る医療費を助成。

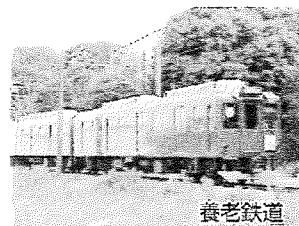
【財源：国県 31,500・一般 119,500（うち※108,800）】

※108,800 地方消費税交付金の引上げ分で社会保障財源充当分

■養老鉄道補助事業（54,342千円）

養老鉄道存続のため、沿線市町（海津市、大垣市、桑名市、養老町、神戸町、池田町、揖斐川町）が、養老鉄道㈱の経営の安定化を図るため補助を行う。

【財源：一般 54,342】



養老鉄道

■名阪近鉄バス海津線補助事業（8,333千円）

市内における乗合バスによる住民の生活交通の確保を図るため、関連市町（海津市、大垣市、輪之内町、養老町）が乗合バス事業者に対し補助を行う。

【財源：一般 8,333】

■防災行政無線管理運営事業（21,861千円）

市内全域に適確な災害情報を伝達し、市民の安全と安心を守るために、機器の保守等及び不感地域解消工事を実施する。

【財源：地方債 4,900・その他 2,744・一般 14,217】

●木造住宅耐震補強工事補助事業（6,300千円）

木造住宅の耐震性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めるため、耐震補強工事を実施する人に対し、必要な経費の一部を助成する。

【財源：国県 2,250・一般 3,750】

○耐震シェルター等設置補助事業（500千円）

地震による住宅の倒壊から居住者の生命を守る耐震シェルター等の設置を推進するため、必要な経費の一部を助成する。（補助限度額 250千円） 【財源：一般 500】

■自主防災組織活動補助金及び自主防災組織備蓄資機材補助事業（4,600千円）

地域防災力の強化を図るため、自主防災組織に対し、自主的な防災訓練実施等に要する経費の補助及び防災備蓄資機材の購入に要する経費を補助する。

【財源：一般 4,600】

■ごみ収集事業（109,959千円）

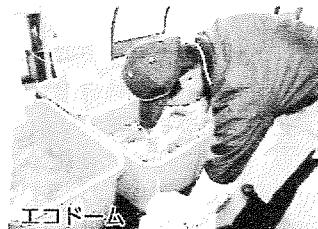
一般家庭から排出されるごみを、「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」、「ビニール・プラスチック類」、「各種資源ごみ」、「有害ごみ」、「陶磁器類」、「粗大ごみ」に分けて収集し、処理施設等において適正に処理する。

【財源：その他 85・一般 109,874】

■リサイクル対策事業（14,111千円）

リサイクル資源の回収拠点として、エコドームの管理運営を行う。

【財源：その他 3,791・一般 10,320】



エコドーム

■合併浄化槽設置費補助事業（3,700千円）

生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全を図るため、浄化槽設置に要する経費及び浄化槽を設置後公共下水道に接続する経費に対し補助金を交付する。 【財源：国 162・県 162・一般 3,376】

安全で快適な 生活環境のまちづくり

○道路ストック老朽化対策事業（62,111千円）

急速に老朽化していく橋りょう等の道路施設について、適切に維持管理するために道路施設の長寿命化を計画的に実施する。

【財源：国県 29,700・地方債 28,900・一般 3,511】

●スマートＩＣ整備事業（11,300千円）

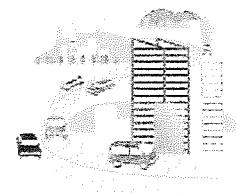
東海環状自動車道西回りルートを活用し、道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や地域産業の活性化等を図るため、スマートＩＣ整備に向けた測量調査等を実施する。

【財源：一般 11,300】

■交通安全施設設置事業

（15,632千円）

地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、交通安全施設を設置する。特に、通学路の安全対策及び区画線再塗布を実施する。



【財源：その他 15,632】

■高齢者運転免許証自主返納支援事業（200千円）

高齢者による交通事故の減少を図るため、市内65歳以上で運転免許証を自主返納した方に対し、住民基本台帳カードとコミュニティバス回数券等5,000円分を交付する。

【財源：一般 200】

■コミュニティバス運行事業（96,300千円）

交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、一般乗合旅客自動車運送事業者に、コミュニティバスの運行を委託する。

【財源：国県 15,500・一般 80,800】

美しい自然を守り、 ともに生きるまちづくり

■畜犬等管理事業（1,057千円）

狂犬病予防注射の実施や飼い犬・猫避妊等手術費を補助する。

【財源：その他 1,057】



■一部事務組合負担事業（592,114千円）

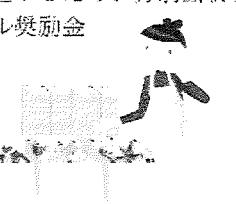
南濃衛生施設利用組合（545,599千円）、西南濃粗大廃棄物処理組合（46,515千円）への負担金。

【財源：一般 592,114】

■ごみ減量化対策事業（14,450千円）

ごみの減量化と再資源化を促進するため、分別回収事業を実施した団体等にリサイクル奨励金を交付する。また、生ごみ処理機設置に対し、補助金を交付する。

【財源：一般 14,450】



力ある 教育・文化のまちづくり

■中学校統合整備事業（402,982千円）

城南、南濃中学校の統合に伴い、城南中校舎の南側に新校舎の建設、電車通学の生徒が増えることに考慮し、養老鉄道の石津、美濃松山高駅に駐輪場を整備するための調査設計等を行う。

【財源：国県 50,255・地方債 335,000・その他 17,707・一般 20】

■海津市キッズパスポート事業（1,600千円）

小・中学生を対象に、海津市内公共交通機関（養老鉄道、海津市コミュニティバス）が乗り降り自由となる乗車券（1年間有効）を5,000円で発売する。

【財源：一般 1,600】

■読み書き支援事業（691千円）

赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合うひと時を持つきっかけとなるよう乳児健診時に絵本を配る。

【財源：一般 691】

■文化財保護管理事業（16,300千円）

指定文化財の保護保存に要する経費補助及びハリヨ牛息地保存管理計画（ハリヨの生育環境及び周辺環境の対策等）の策定、円満寺山古墳周辺整備の実施。

【財源：国県 1,315・その他 7,267・一般 7,718】

■遺跡調査事業（9,937千円）

濃尾平野最古といわれている円満寺山古墳群の範囲確認内容調査、その他開発に伴う遺跡包蔵地の試掘調査を実施する。

【財源：国県 4,968・一般 4,969】

■姉妹都市生徒・友好都市児童交流事業（3,394千円）

地域間交流を通して文化や歴史、習慣等を学び、友情を育て相互の理解を深めながら、心豊かな人間の育成を図るとともに、嘉島市・酒田市との友好・親善に寄与する。

【財源：一般 3,394】



■商店街活性化事業（44,251千円）

商工会が行うプレミアム商品券発行や、各種イベント開催事業費に対して補助する。また、商店街活性化のため、平成25年度に引き続き調査を実施する。

【財源：一般 44,251】

舟運観光

■舟運観光事業（673千円）

低地・水を活用した河川での「舟運」を運航し、新たな「観光資源」として位置付ける。

【財源：その他 96・一般 550】



■観光イベント関連事業（27,500千円）

市への誘客を図るため、チューリップ祭りや木曽三川公園の春夏秋冬及び正月イベント開催への負担金。

【財源：一般 27,500】



■雇用対策事業（3,843千円）

市内企業の職場ガイドを作成し、求人に関する情報及び、近隣のハローワークと連携して雇用情報を提供する。また、新規に無料職業紹介所による職業紹介及び職業相談を行う。

【財源：一般 3,843】

◎郷土学習の手引き作成事業（2,910千円）

地域の教育資源を活用した郷土学習の海津市スタンダードとして「海津市郷土学習の手引き」を作成する。

【財源：一般 2,910】

■学級支援員設置事業（20,531千円）

低学年の学級や特別支援学級において、学級担任以外に、支援員を配置することにより、児童生徒に寄り添った、きめ細かな指導を行う。

【財源：一般 20,531】

●特別支援教育アシスタント事業（18,886千円）

通常学級に在籍する軽度な発達障がいの児童生徒の行動や様態に個別に対応し、当該児童生徒及び学級の他の児童生徒が落ち着いて学習や生活ができるように、アシスタントを配置する。

【財源：一般 18,886】

■心の教室相談員設置事業（6,800千円）

不登校やいじめ等の悩みをもつ児童生徒の相談、家庭訪問、校内巡回、学習支援などを行い、児童生徒とのコミュニケーションを図り、学校・家庭・地域との連携を大切にした支援活動を行う相談員を配置する。

【財源：一般 6,800】

■メール配信システム業務委託事業（517千円）

不審者情報の提供や緊急時の小中学校の保護者への連絡手段として、市として統一のメール配信により、児童生徒の安全な生活を確保する。

【財源：一般 517】

■野外校外活動補助事業（3,909千円）

学校と異なる環境において、児童を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や、公衆道德などについて望ましい体験を積むことができるような学習活動に補助する。

【財源：一般 3,909】

地域の特徴を活かした、 活力ある産業のまちづくり

●元気な農業産地構造改革支援補助事業（6,708千円）

産地農業の生産拡大を目的とする農業用機械施設の導入計画のうち、岐阜県が認める計画に対し、その経費の一部を助成する。

【財源：国県 6,708】

■新規就農者確保補助事業（6,000千円）

国の基準を満たす新規就農者に対し、最長5年間、国から給付金が給付される。

【財源：国県 6,000】

○元気な園芸特産産地育成対策補助事業（331千円）

園芸特産物産地の活性化を目的とする農業用機械施設の導入計画のうち、岐阜県が認める計画に対し、その経費の一部を助成する。

【財源：国県 331】

○鳥獣被害防止緊急捕獲等対策

補助事業（2,982千円）

野生鳥獣の増加に伴う農作物被害を防止するため、個体数抑制のための有害獣捕獲等の活動経費に対し助成する。

【財源：国県 2,982】



市民参画による 協働自治のまちづくり

◎結婚定住祝金交付事業（500千円）

海津市が主催、共催、後援する未婚者の出会い支援懇親会に参加した者同士が結婚し、海津市に居住する場合に祝金を贈り、定住を促進する。【財源：一般 500】

◎市の魚選定事業（358千円）

合併10周年記念事業として、市の魚を制定する。
【財源：一般 358】

■市民提案型・行政提案型協働事業（4,524千円）

市民の企画提案や市が提案したテーマに対する企画案に基づき、市民と市が協働で実施するまちづくり事業に要する費用を補助する。

【財源：一般 4,524】



■同和問題啓発事業（2,040千円）

同和問題をはじめとした様々な人権問題を、市民が正しく理解し、人権感覚を更に磨き、差別意識の解消を図るために啓発事業を行う。

【財源：国県 581・一般 1,459】

■人権啓発事業（1,044千円）

「人権教育・啓発基本計画」をもとに、人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資する。

【財源：国県 300・一般 744】

◎ふるさと寄付金推進事業（100千円）

ふるさと海津応援寄付金として寄付いただいた方へ海津市の特産品を贈り、寄付を奨励するとともに、海津市の特産品をPRする。【財源：一般 100】

■統合庁舎整備事業（95,369千円）

平成25年度繰越事業で、海津市役所西館の耐震補強及び改修工事を行い、平成27年1月の統合庁舎開所に向けた準備を行う。



【財源：地方債 39,500・一般 55,869】

◎支所整備事業（30,050千円）

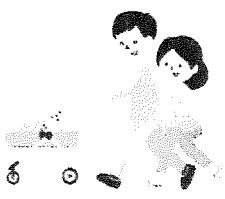
平成27年1月より、平田支所を平田総合福祉会館（愛称：やすらぎ会館）、城山支所を文化会館に設置するため支所整備を行う。

【財源：地方債 28,500・一般 1,550】

◎子育て世帯臨時特例給付金事業（45,300千円）

消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置を実施する。

【財源：国県 45,300】



■広報かいつ発行事業（13,070千円）

開かれた市政の一環として、広報紙を毎月1回発行し、市の重要施策、市民の関心の深い施策のほか、市に寄せられた声、各分野で活躍するみなさんの紹介、催しや募集情報などをお知らせする。

【財源：国県 500・その他 740・一般 11,830】

■海津市紹介DVD制作事業（1,617千円）

市内外に幅広く情報発信するとともに、魅力あるまちづくりを進めるため、合併10周年を記念して、市勢を映像で紹介するDVDを制作する。

【財源：一般 1,617】

■マスコットキャラクター作製事業（1,600千円）

合併10周年を記念して、海津市の魅力を市内外に発信するとともに、市への愛着をさらに深めるため、昨年度公募し決定したデザインに基づき、マスコットキャラクターを作製する。

【財源：一般 1,600】



■高須城下町クイズラリー事業（335千円）

サイクリングマップを活用した事業展開の可能性を調査するため、高須城下町コースを利用したクイズラリーを試験的に実施する。

【財源：一般 335】

7 効率的な行財政運営

■基幹系・情報系システムの安定稼働事業（194,391千円）

住民登録システム、税・福祉関係等の基幹系システムの運営管理を行う。また、サーバ、ネットワーク機器等の保守体制の強化や災害時において重要業務を中断させずに業務継続が行える情報系システムの設備環境の維持管理を行う。

【財源：一般 194,391】

○ツール・ド・西美濃実行委員会負担事業（300千円）

西美濃地域の関係市町・団体が連携して開催するツール・ド・西美濃に、2市9町が財政支援を行なう。

【財源：一般 300】

■職員交流事業（9,396千円）

姉妹都市の鹿児島県霧島市及び岐阜県との相互派遣職員を派遣し、派遣先の優れたところを事務的・技術的な面から収集し、市行政に活用し、職員の相互交流を図る。

【財源：その他 6,396・一般 3,000】

8 その他

○臨時福祉給付金事業（108,100千円）

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な給付措置を実施する。

【財源：国県 108,100】